

## 第2章 基本計画

### 1. 整備コンセプトの整理

#### (1) 整備コンセプトの策定にあたって

基本構想では、埼玉県屋内50m水泳場の整備と公園区域の拡大を契機として、2つの軸（スポーツ・運動場整備と公園整備）と、多様な視点（利用者、地域、広域・まち、地球環境等）を踏まえて、「ひと まち 自然 をつなぐスポーツと緑の健康拠点」を基本構想コンセプトとして策定した。

図表 2-1-1 基本構想コンセプト策定の軸と視点

	スポーツ・運動場整備を軸に	公園整備を軸に
利用者の視点 (市民・県民)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ する／みる／ささえるを通じた、<b>多様な世代</b>に開かれたスポーツ環境の整備</li> <li>・ 利用者の<b>健康増進</b>、競技力向上</li> <li>・ 多様な競技空間が集積した利便性の高い<b>運動拠点整備</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>多様な世代</b>が集う、憩い／休息／レクリエーションの場の整備</li> </ul>
地域の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツを軸にした<b>地域コミュニティ</b>の醸成</li> <li>・ スポーツ、健康を軸とした周辺機関（医療・教育・福祉等）との<b>連携</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民を含めた質の高い緑づくりを通じた<b>地域コミュニティ、つながり</b>の醸成</li> <li>・ 美しい緑の創出による<b>まちの魅力向上</b></li> </ul>
広域・まちの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県南地域の<b>新たなスポーツ拠点</b>整備</li> <li>・ <b>周辺環境と調和</b>、連携した施設整備</li> <li>・ 災害時でも<b>安心安全</b>の避難施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺の大規模緑地と連携した<b>広域的な緑のネットワーク</b>づくり</li> <li>・ いきものに<b>生物多様性</b>の保全・創出</li> <li>・ 人をよびこめる<b>魅力ある緑</b></li> <li>・ <b>シンボル性</b></li> </ul>
地球環境の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然・未利用エネルギーを活かした<b>環境配慮型</b>の施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒートアイランドの緩和に資する環境整備（緑陰・緑被・保水など）</li> </ul>
その他の視点	(共通) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>地域の魅力と誇り</b>を育む施設／公園整備</li> <li>・ 市の歴史や地形環境・風土を活かした施設／公園整備</li> <li>・ バリアフリー化、ユニバーサル化</li> </ul>	

基本計画では、このコンセプトと視点を踏襲しつつ、新たに防災公園として位置付けられることから災害時における防災機能の向上、公園全体の効率的な活用を踏まえて、專頁に具体的な計画指針となる整備コンセプトを策定する。各整備コンセプトに沿った、導入機能のイメージも併せて整理を行った。

図表 2-1-2 整備コンセプト

## 整備コンセプト

### 1. 多様な主体・世代が利用できる運動環境の整備

- ・ トップアスリートが集う県プール施設から、地域スポーツ・レクリエーションの受け皿となる様々な運動施設の再整備
- ・ 多様な主体・世代が利用できる運動場・広場等の整備
- ・ 気軽に体を動かせる機会や空間の整備

#### 導入機能のイメージ

- ・ 県初の屋内50mプール、北スポーツセンターの再築、屋外運動場の再整備
- ・ 異なる趣向をもった屋外多目的広場、トレーニングルーム
- ・ 園路や用水路沿いと連携したランニング走路

### 2. だれもが利用しやすい開かれた公園整備

- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインの促進
- ・ 来訪者、利用者に対する受付・案内機能の整備
- ・ 年齢や障害の有無に関係なく利用できる施設の整備

#### 導入機能のイメージ

- ・ 緩勾配の広幅員園路、見通しが良くわかりやすい動線、清潔でみんなが利用しやすいトイレ
- ・ クラブハウス 兼 施設利用者窓口
- ・ インクルーシブ遊具、健康増進器具

### 3. 日常利用の促進も兼ね備えた防災拠点の整備

- ・ 広域避難場所となる平場空間（広場・屋外運動施設）の整備
- ・ 災害時には雨水貯留機能を担う緑化基盤や貯留槽の整備
- ・ 日常・災害時の双方で利用できる什器等の整備

#### 導入機能のイメージ

- ・ 想定避難人口、ヘリコプターの離着陸に対応した平場空間
- ・ 日常の潤いと防災性を備えたレインガーデン
- ・ かまどベンチ、防災パーゴラ等

### 4. 地域コミュニティを育む活動拠点の整備

- ・ スポーツ団体やボランティアの活動を支える機能整備
- ・ 市民が憩い、集う交流の場の整備

#### 導入機能のイメージ

- ・ 外部に貸し出せる会議室・多目的室
- ・ 広場に配置するあずまや、野外卓等

### 5. 地域の魅力と一体となる心地よい緑景観の整備

- ・ 地域の自然景観の魅力を味わう緑景観の整備
- ・ 公園の骨格となりまちのシンボルとなる園路の整備

#### 導入機能のイメージ

- ・ 見沼代用水の桜並木と一体となる広場・緑地空間
- ・ 季節感のある花木や紅葉のある樹木
- ・ 南北貫通通路、貫通路沿いの並木